

どんな研究

幼児が他者に抱く親密さは友人関係の基盤であり、発達心理学分野の重要なテーマです。しかし従来の測定手法には、準備に時間を要する・質問意図が分かりやすいという問題があります。この展示では、**幼児が描く絵から他者に抱く親密さを簡便かつ自然に測定する手法**を紹介します。

どこが凄い

3～6歳の幼児に自分と他者の絵を描いてもらい、**描かれた人物の一番近い点同士の水平の長さ**を二者間距離とすると、**この距離は幼児がその他者に抱く親密さと関連**することが分かりました。描画という簡易的な手法で幼児の親密さを測定できることを示した初めての研究です。

めざす未来

幼児の社会においても、孤立やいじめなど様々な問題が潜んでいます。**対人関係の問題をいち早く検知し、深刻な事象を防ぎつつ良好な関係を構築する支援手法**を確立することで、幼児期のウェルビーイングを向上させ、その子の将来にポジティブな影響を与えることができます。

本研究の概要

子どもが他者に抱く親密さを測る従来手法では、高コスト／参加児に目的を悟られやすいという問題点があります。

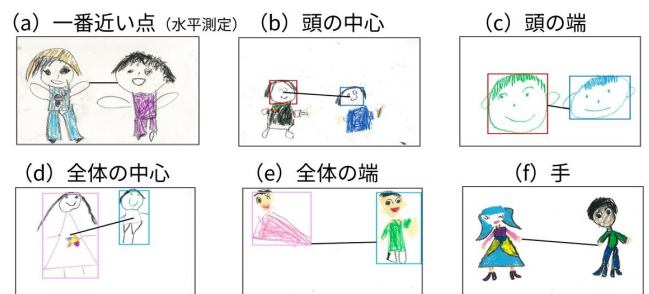
- 本研究では3-6歳児を対象とした実験により、描画という簡便な手法によって親密さを測定できることを示しました。



2つの研究により、他者に抱く親密さの程度が高いほど、絵に描かれた二者間距離が短くなることを解明しました。

描画課題

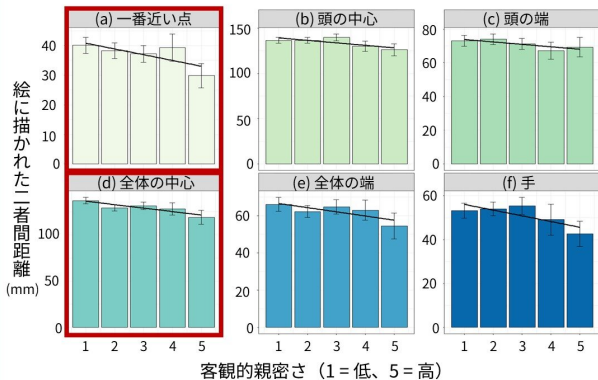
画用紙 (270×380mm) に自分とクラスメイト1名の絵を描いてもらい、絵に描かれた二者間距離を測定しました。



研究1: 客観的評価による親密さとの関連

園児の行動から親密さを把握するため、絵に描かれた2人がどの程度一緒に遊んでいるかを、担任の先生に5段階で評価してもらいました。

→ 客観的親密さ (1=低～5=高)



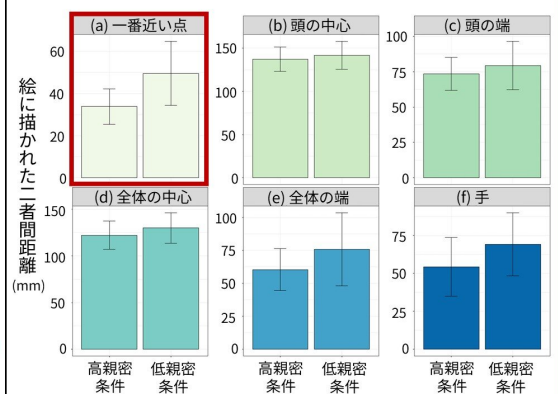
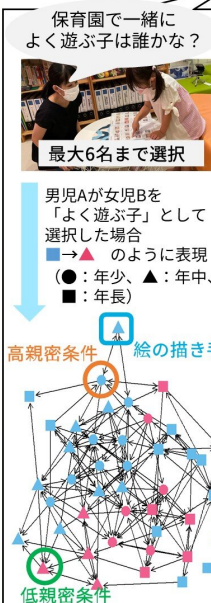
客観的親密さが高くなると、二者間距離が短くなることを示しました。(一番近い点: $p = .047$ 、全体の中心: $p = .005$)

[参加児] 年少～年長の3-6歳児 研究1: 832名 (21の保育園から参加)
研究2: 44名 (1つの保育園から参加)

研究2: 主観的評価による親密さとの関連

園児への質問により、社会的ネットワーク (SN) を構築しました。
→ ネットワーク上の距離 = 主観的親密さ

- 高親密条件: SN上の距離が近い人と自分の絵
- 低親密条件: SN上の距離が遠い人と自分の絵



高親密条件での二者間距離が低親密条件より短くなることを示しました。
(一番近い点: 高親密 = 33.78mm、低親密 = 49.53mm、 $p = .032$)

関連文献

- [1] A.Shinohara, M. Narazaki, T. Kobayashi, "Children's affiliation toward peers reflected in their picture drawings," *Behavior Research Methods*, Vol. 55, pp. 2733-2742, 2023.
- [2] A.Shinohara, M. Narazaki, T. Kobayashi, "Children draw favorite peers close to them in pictures: Longitudinal evidence using social network analyses," under review.
- [3] 篠原亜佐美, 檜崎雅, 小林哲生, "絵に表れる友だちへの気持ち: 描画を用いた幼児の親密さ測定手法の検討," 第87回日本心理学会全国大会, 2023.

連絡先

篠原 亜佐美 (Asami Shinohara) 協創情報研究部 コミュニケーション発達研究グループ